



2026 年 8 月  
聖隷こども園夢舞台

連日、猛暑日が続いていますね。

厳しい暑さのなか、子どもたちの体調が心配になりますが、朝から元気な姿をみると子どものパワーはすごいなと感心させられます。同時に、ご家庭でも食事や生活面に配慮されているんだなと思います。いつも早めの受診対応や体調管理ありがとうございます。

園でも、こまめな水分補給と室内外の温度差に注意しながら、子どもたちの顔色や体調の変化を見逃さないように配慮してまいります。ご家庭でも体調の変化にお気づきの際は、お気軽にお声がけください。



### 夏に流行する感染症



### なぜ夏は感染症が増えるの？

- ① 気温や湿度が高い環境は、細菌やウイルスが活発になりやすく、皮膚のバリア機能も低下するため感染症が増えます



- ② プールや水遊びなどで肌同士の接触などが増えるため。(園ではプールの安全標準指針に準じて消毒を実施していますが、接触感染の機会がどうしても多くなると考えます)



### 夏は手足口病・ヘルパンギーナ・プール熱（咽頭結膜熱）に要注意です！

(主な症状)

- ・ **手足口病**：38℃以下の発熱が多い+口の中・手の平・足の裏に水疱がでる
- ・ **ヘルパンギーナ**：39～40℃の発熱+口やのどの奥に発疹（体には出ない）
- ・ **プール熱**：発熱+のどの痛み+目の充血。発熱→のど・目症状がほぼ同時に広がる

夏になると、海や川へ出かける機会が増えてきます。安全に楽しくルールを守って遊ぶようにしましょう😊

### ～ 気をつけるポイント ～

- 「体調が悪いときは無理をしない」  
疲れや睡眠不足を感じる場合は、決して無理しないようにしましょう
- **こどもから目を離さない**  
子どもは大人と比べて危険を察知する力が弱いです。兄弟と遊んでいるから・・・と目を離さないようにしてください
- **管理された海水浴場で泳ぐ**  
当たり前のことですが、一口に「海」といっても、遠浅の海や急に深くなったり、その環境は様々です。一見ただけでは危険性は判断できません。必ず「監視員」や「ライフセーバー」がいる海水浴場で泳ぐようにしましょう
- **川では、上流側の天候により急に増水する場合があるため、天気予報などをチェックしましょう。**上空の空に黒い雲や雷が聞こえた時、水が急に冷たくなった時、落ち葉や木が流れてきた時など川の水が急に増えるサインです

